

景況見通し調査 (平成21年9月期)

◎ 調査目的 / 当所管内の小規模事業所の短期的な景気動向を把握するため、毎年3月・6月・9月・12月の年4回調査を実施している。

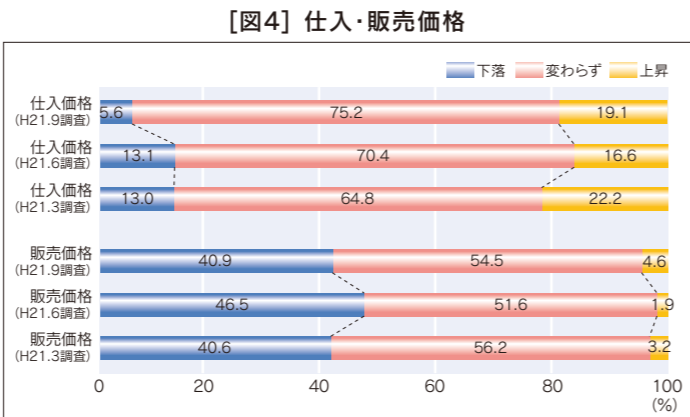
◎ 調査時期 / 平成21年9月8日(火)～15日(火)
 ◎ 調査方法 / FAXによる送付、回収
 ◎ 調査対象 / 当所会員小規模事業所より655件を抽出

◎ 回答数 / 331社(回収率50.5%)
 「DI値」とは「ディフュージョン・インデックス(Diffusion Index)の略で、景気動向を示す指標。「良」「上昇」とする企業割合から、「悪い」「下落」したとする企業割合を差し引いた値である。

業界の景況

業界全体の景況DI値は▲88・2と前回調査(H21年6月)と比べ4.0ポイントのプラスとなり、数値に若干の改善はみられるものの、依然として厳しい状況が続いている。

「今後3ヶ月の先行き」についても、DI値は▲87・4と数値改善が見ら



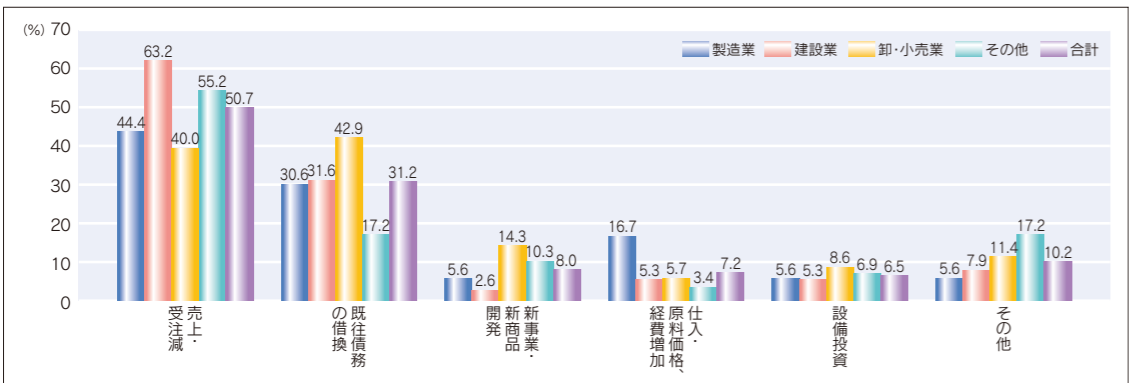
今後の借入計画

4割以上の企業が今後、年末等の繁忙期に向けて、金融機関などからの借入を検討していることが伺える。

借入の目的として、全体の5割を超える企業が「売上・受注減」をあげている。業種別にみると「建設業」で6割以上、「その他・サービス業」で5割以上を占めている。

また、「既往債務の借換」は全体で3割以上の企業が目的にあげて

[図5] 借入の目的(業種別)

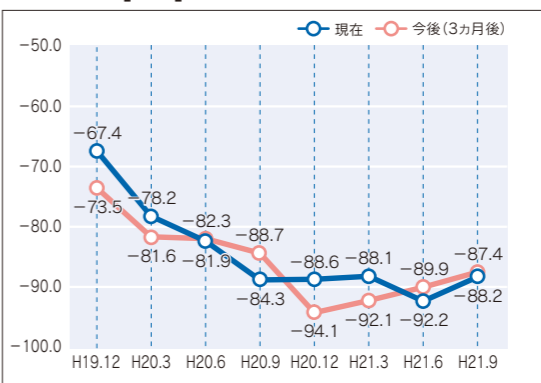


おり、業種別にみると「卸・小売業」では4割以上を占めている。「仕入・原料価格、経費増」は「製造業」で16.7%と目立っている。

自社の景況

自社の景況感をみると、現在のDI値は▲75・0と、業界の景況感と同じく前回調査と比べ6.3ポイントと若干の改善がみられる。「今後3ヶ月の先行き」はDI値で3.4ポイントの改善であり、業種別にみると「製

[図1] 業界景況DI値の推移

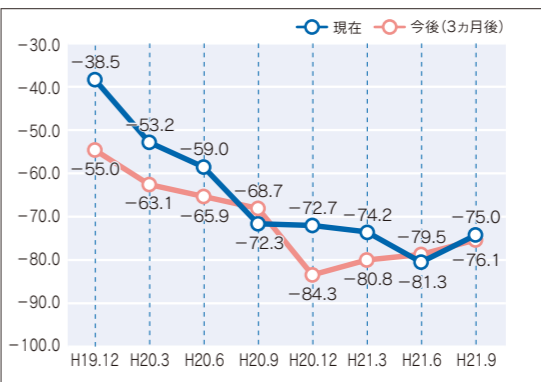


れるが、厳しい状況に変わりはない。業種別では前回調査で改善と予測している「建設業」が悪化、他の業種では改善と予測している。

売上(受注高)

「現在」のDI値は前回調査より11.2ポイントのプラスで▲61・5と大幅な改善がみられる。業種別にみると「製造業」、「建設業」で大幅な改善が見られる。「3ヵ月後の先行き」ではDI値

[図2] 自社景況DI値の推移



造業」では前回との比較で16.9ポイントのプラスと大幅な改善を予測している。逆に「建設業」ではマイナス6.5ポイント悪化を予測している。

各業種の景況判断

〔製造業〕
 業界DI、採算DIで若干改善。自社DI、売上DI、売上DIは大幅改善
 〔建設業〕
 業界DIで若干改善。自社DI、売上DI、採算DIは大幅改善
 〔卸・小売業〕
 業界DI、自社DI、売上DIで若干改善。採算DIは悪化。
 〔サービス業・その他〕
 業界DI、自社DI、売上DIで改善。採算DIは悪化。

[参考] 各DI値前回調査との比較

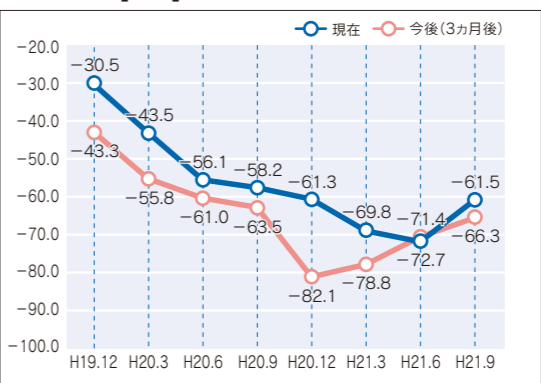
	業界DI	自社DI	売上DI	採算DI
全業種	+4.0	+6.3	+11.2	+4.4
製造業	+4.4	+20.6	+18.6	+4.5
建設業	+2.8	+9.6	+21.7	+14.8
卸・小売業	+4.9	+0.2	+1.0	-1.5
サービス業・その他	+5.6	+9.6	+7.2	-6.1

※-(マイナス)は悪化、+(プラス)は改善

仕入・販売価格

仕入価格では、「変わらず」と回答した企業が約75%、「下落」と回答した割合が5.6%と前回と比べ大幅に減少している。販売価格も前回と比較し「下落」が減少し「上昇」が増加しており改善の兆しがみられる。

[図3] 売上状況DI値の推移



が5.1ポイント改善している。業種別にみると「製造業」で大幅な改善を予測しているが、他の業種では若干の悪化を予測している。

「本調査に関するお問い合わせ先」

福井商工会議所 金融・税務相談課

TEL 0776(33)8284